



墨東の学び

令和7年度 学校通信⑫号

令和8年2月27日発行

都立墨東特別支援学校

校長 西岡 陽子

「応援のチカラ」メッセージ・アート贈呈式

2月13日(金)「応援のチカラプロジェクト」メッセージ・アート贈呈式が日本財団パラスポーツサポートセンターで行われました。本校の小学部児童2名が参加し、香取慎吾さんとともに、ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会に出場するパラアスリートの中島洋治選手(カーリング)と岡本圭司選手(スノーボード)へ応援メッセージと応援アートを直接お渡しすることができました。

応援アートは本校のS部門小学部・中学部とB部門の児童・生徒がパラリンピックに向けて応援の気持ちで制作した作品を応援のタネとして、香取さんが「花火のような、スパークする力強いパワーを感じて」、一つ一つ花火のように放射状にコラージュして、『**応援パワ火**』という一つのアート作品としてまとめたものです。

応援メッセージは3月15日(日)まで[「応援のチカラ」サイト](#)から引き続き投稿できます！



【S】笑顔と学びの体験活動プロジェクト(防災体験)

2月10・18・24日にS部門の各学部を対象に本校体育館で、笑顔と学びの体験活動プロジェクトとして防災体験学習を行いました。

①避難所用テント体験、②毛布で作る簡易担架体験、③紙芝居クイズ「大雨が降ったらどうする？」の三つの体験活動を通して、災害時に自分の身を守るための判断力・行動力を身に付け、日頃からの備えの重要性を体験的に学び、実生活に生かす意識を高めることができました。また、現在校内防災スタンプラリーを開催中です。6か所のポイントでクイズに答えるとシールがもらえます。クイズが終わった児童・生徒には『ぼくとう防災士認定証』が発行されます。

【B】オンライン芸術鑑賞教室

2月2日(月)、フランス在住の「DUO 2.20(デュオ・ドゥヴァン)」のアヤノ・ドゥヴァンさんを講師にお迎え

し、B部門いるか分教室、病院訪問つばさ学級合同で芸術鑑賞教室を行いました。日本では午後2時30分でしたが、時差が8時間もあるため、フランスは朝の6時30分！演奏とフランスや音楽に関するお話と盛りだくさんの1時間でした。ヴァイオリンとピアノの演奏、組曲「カルメン」(抜粋)では、曲に合わせて登場人物のイラストも画面に現れ、イメージしながら聴きました。また、4種類の弦楽器ヴァイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバスの聴き比べや、アヤノさんによるピアノ演奏で、長調(明るい雰囲気)の「かえるのうた」を短調(暗い雰囲気)にすると……など、分かりやすく説明してくださり、楽しみながら音楽に触れることができました。本校の児童・生徒もチャットやリアクション機能を使って、質問したり、自分の考えを伝えたりして、積極的に参加していました。「ヴァイオリンの音がきれいだった」「フランスの話が面白かった」など、それぞれ新しい発見があったようです。

【B】ロボットプログラミング選手権全国大会ベスト8！

2月10日(火)ロボットプログラミング選手権2025(病弱教育部門)全国大会の報告です。各地区大会を勝ち抜いた21チームが参加し、B部門いるか分教室小学部のチーム「キラキラドルフィン」(レッピー号、ミニデーモン号、ロボロボロボット号)が出場しました。地区大会の時のプログラムにさらに磨きをかけ、バージョンアップして臨みました。全国1回戦の対戦相手は青森県立若葉養護学校の「若葉の知」。「がんばれー！」の声援の中、見事勝利！続く2回戦は、千葉県立四街道特別支援学校の「チーム1・2年生」。善戦及ばず惜敗でしたが、最終結果は、堂々の全国ベスト8でした。午後のエキシビジョンマッチでは、各チームの代表が1試合1対戦し、いるか分教室からは「レッピー」号が代表として参加、高知県立高知江の口特別支援学校のチーム「土佐ノ国」の代表と対戦しました。本校でも、いるか分教室とオンラインでつなぎ、S部門の児童・生徒の皆さんが作った「応援うちわ」を手に、いるか分教室の児童・生徒と一緒に観戦、応援しました。